

応用統計学会 第9回シンポジウム プログラム

— 実験・調査の計画と解析 —

1987年10月30日(金)、31日(土)

慶応大学医学部医学情報センター内北里講堂(東京都新宿区信濃町35)

10月30日(金)

開会 午後1時30分 開会の辞 吉村 功

セッションA 座長 吉沢 正、藤野和建

特別講演(13:30~14:40)

A1. 鷲尾泰俊 ファクター・ミカエリ(慶応大):混合実験について

休 憩(14:40~15:00)

一般講演(15:00~17:00)

A2. 中平美智子、奥野忠一(東京理科大):分割型データの重回帰分析における最尤推定量について

A3. 渋谷政昭、柴田里程、椿 広計(慶応大):実験データの記述と計算機による解析

A4. 芳賀敏郎(東京理科大):数量化I類、II類におけるカテゴリーのプーリングのアルゴリズム

A5. 岩瀬晃盛(広島大):逆ガウス型分布の下での実験の計画

10月31日(土)

セッションB 座長 塩見正衛、鈴木義一郎

特別講演(9:30~10:40)

B1. 三輪哲久(農業環境技研):圃場試験データの空間的モデルと解析法

休 憩(10:40~11:00)

一般講演(11:00~12:30)

B2. 竹澤邦夫、松本成夫、横沢正幸(農業環境技研):多変量解析の新たな展開 —平滑化、ACE、Projeciton Pursuit—

B3. 佐井至道(岡山商大):多変量の説明変数に基づく最適層別について

B4. 岸野洋久(統数研):目視調査による南永洋ミンク鯨資源評価

昼食・休憩(12:30~13:30)

セッションC 座長 山本英二、丹後俊郎

特別講演(13:30~14:40)

C1. 広津千尋(東京大):医薬試験の計画と解析に関する諸問題

休 憩(14:40~15:00)

p_0	q_0	1
p_1	q_1	1

Control

Case	1		\hat{p}_1	p_0
			\hat{p}_2	q_0
	p_1	q_1		

$p_1 p_0$	$q_0 q_1$
$p_1 q_0$	$q_0 q_1$

一般講演 (15:00~16:30)

- C 2. 浦狩保則、後藤昌司 (塩野義解析センター) : 応答曲線の比較における並べかえ検定。
- C 3. 吉村 功 (名古屋大) : 期間投与量に変更ある臨床試験
- C 4. 稲葉太一 (名古屋大) : 小標本における分散行列の推定について

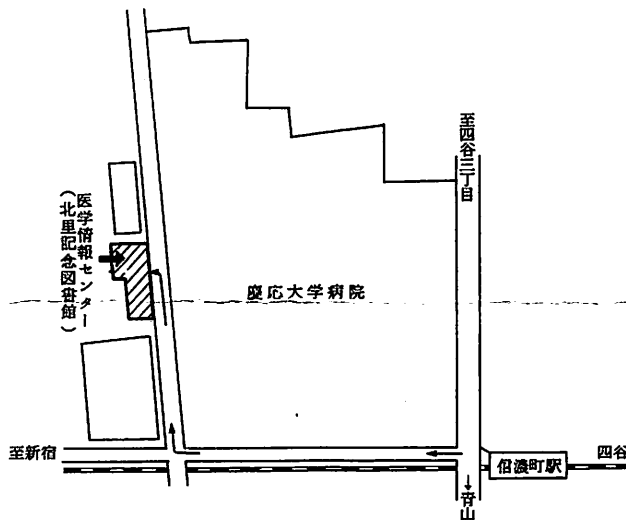
「応用統計学」の索引についての報告 : 渋谷政昭

閉会の辞 渋谷政昭

応用統計学会は以前から優先性や独創性を主張し権威づけることよりも、現実問題で役に立つことを重視し、その視点からの自由な討論を楽しむという面が強かったと思います。この秋のシンポジウムも、その線に沿って、上記のスケジュールで行なうことにしました。工業、農水産業、医学、生物学等多くの分野への応用にどんな問題があり発展が見られたかについて議論したいと思います。多くの方を誘って御参加下さい。

前に開催場所を統計数理研究所とお知らせしましたが、都合により慶応大学医学部北里講堂に変更しました。ご了承下さい。

会場案内図



交通の便 : JR東日本中央線信濃町駅下車 徒歩5分

駐車場がございませんので、車での御来場は御遠慮下さい。

参加費 : 正会員 2,500 円、学生会員 1,000 円、非会員 4,000 円

問合せ先 : 〒223 横浜市港北区日吉3-14-1

慶応義塾大学理工学部数理科学科内

応用統計学会事務局

電話 044-62-4442